



瀬戸内アルプス縦走

【連山縦走】文殊山、嘉納山、源明山、嵩山の「瀬戸内アルプス」と呼ばれる四山を縦走するコース。登山シーズンは10～6月頃がおすすめ。緩やかな道が多く、木漏れ日を受けながら気持ちの良いハイキングが楽しめる。



【①外敵侵入防止の土塁】文珠山～嘉納山の稜線に沿って、土手のような土塁の跡が続く。四境の役の際に築かれたといわれている。



【②嘉納山山頂からの眺望】北側に文珠山、南側に源明山が見える。山頂には、旧日本軍の砲台跡があり。



【③岩屋観音窟】源明山への道すがら、案内看板のある分岐点を行くと、200m ほどで弘法大師ゆかりの岩屋観音がある。



A good place
to take pictures



【④源明山眺望スポット】嘉納山～源明山に向かう途中にある眺望スポット。安下庄湾が見下ろせる。



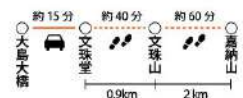
【③集塊岩】周防大島の地質の一部には、大島火山岩類と呼ばれる火山岩が分布している。その岩石の種類である集塊岩が、文珠山、嘉納山付近で見ることができる。

縦走コースガイド

歩きやすい道が続くよ！

景色を味わうハイキングコース

— 往復約3時間／コースレベル★☆☆

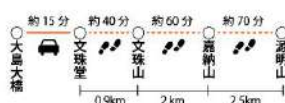


文珠山を経て、嘉納山への鞍馬を歩くコース。文珠山から嘉納山までは、起伏が少なく歩きやすい腐葉土の道が続きます。嘉納山山頂には旧日本王の御所があります。

海明山まで足を伸ばしてみろ！

歴史を感じるハイキングコース

— 往復約5時間半／コースレベル★★☆

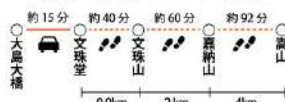


文珠山、嘉納山を経て、源明山への接続を歩くコース。嘉納山から源明山へは、初めこそ急階段がありますが、基本的に歩きやすい道が続きます。源明山付近には、四境の役の戦跡碑や戦没者供養塔などがあり、明治維新の戦いの跡が感じられます。

眺望良し！

がんばるハイキングコース

— 往復約5時間半／コースレベル★★★



文珠山、嘉納山を経て、満山への稜線を歩くコース。嘉納山から嵩山までは、登ったり降りたりをゆるやかに繰り返す道が続きます。

 走行を楽しむテクニック！
車2台を有効活用！

まず、車2台で高山まで。1台を駐車場に置き、もう1台で文珠堂へ。文珠堂から高山に向けて登山を開始！往復しなくてよい分、源明山まで足を伸ばせますよ。仲間のことを忘れないうえね。

文珠山スタートは No.2 を参照



※時間は登山アプリ YAMAP を参照しています

周防大島広域図